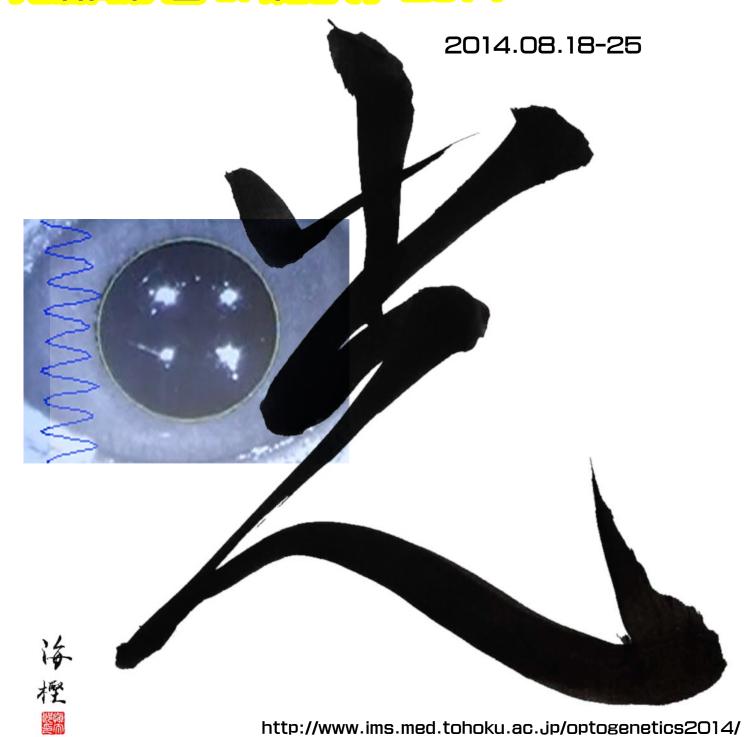
光操作研究会 in 東北大学 2014



形と機能を解きほぐし、心の中身を暴き出す

脳科学は来る10年で、目覚ましい発展をとげることは間違いありません。テクノロジーの飛躍的な進歩によって、集積回路を読み解くような精度で、脳の全ての配線図が描ける時代がすぐそこまで迫ってきています。脳回路の構成素子ひとつひとつを光や薬で自在に操ることも、すぐに可能になるでしょう。私たちは既にそのさらに先を見つめます。今年の光操作研究会では、脳科学・生命科学の未来について想像力を膨らませ、大いに議論します。この時に、巡り合えた喜びを噛みしめて。

平成26年度当番幹事: シンポジウム+技術検討会<光2>担当 松井広(東北大学大学院医学系研究科)

技術検討会<光1>担当 八尾寬、加藤秀理(東北大学大学院生命科学研究科)

技術検討会<形>担当
大隅典子、佐藤達也(東北大学大学院医学系研究科、東北大学学際フロンティア研究所)

題字 仙石慎太郎(京都大学 物質ー細胞統合システム拠点)



http://www.ims.med.tohoku.ac.jp/optogenetics2014/

シンポジウム 2014年8月21日(木)~22日(金)

シンポジウム会場:東北大学医学部星陵キャンパスそば 民陵 会館

受付開始: 8月21日12時30分~

技術検討会<形> 8月18日(月)~21日(木):大隅典子研究室 定員12名

技術検討会<光1>8月22日(金)~23日(土):八尾寛研究室 定員10名

技術検討会<光2> 8月22日(金)~25日(月):松井広研究室 定員 4名

事前登録一次締め切り: 6月20日(状況により延長) 技術検討会参加可否の通知:

技術検討会参加可否の通知: 6月30日頃



※マウス胎児の発達中の脳。



※ 生きたままの脳組織標本で細胞活動を 光で操作する装置。

今年の光操作研究会は東北大学にて開催いたします。例年とは一味異なり、オプトジェネティクスという光で細胞機能を操作する技術に加えて、コネクトミクスなどの形態学的に脳回路を同定していく試みに関する研究会に致したいと思います。また、それぞれの技術を用いた技術検討会(ワークショップ)を3つ開催します。シンポジウムも含め、全て事前登録制ですので、ウェブサイト上の参加登録を行っていただければ幸いです。

共催:新学術領域研究「メゾスコピック神経回路から探る脳の情報処理基盤」

支援: 包括型脳科学研究推進支援ネットワーク後援: 公益財団法人 テルモ科学技術振興財団

